



桜川保育園
 〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号
 【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390
 【E-mail】sakuragawa@showfukai.com
 【URL】https://showfukai.com/
 【発行責任者】施設長 宇都野 和司
 ※掲載写真は、保護者の同意を得ています。

桜川保育園 だより



園で育てた野菜を使い ピザ作りに挑戦!

保育園では、「SDGs」につながる活動の一環として、食品ロスをなくすことや、廃材利用、節電、ペーパーレス化など、環境を守るための取り組みを行っています。そのほかにも、毎年、子ども達が野菜作りをしています。今年度は、その野菜を使ってピザ作りに挑戦しました。

ピザを焼く「ピザ窯」作りでは、設計図を基に役割分担し、みんなで協力してレンガを積み上げることができました。

ピザ作りの当日は、野菜を収穫するところからスタートし、ピザ生地も一から作りました。自分たちで育てた野菜をトッピングし、ピザ窯の燃え盛る炎の前に立つと、「熱そう!」と火の勢いに圧倒されていました。ピザが焼きあがると「美味しそう!」「早く食べたい!」と目を輝かせていました。

子どもたちが、実際に栽培から調理までを経験することで、食べ物大切さや、毎日ご飯が食べられることへの喜びや感謝を学ぶことができ、そのことが「SDGs」のさまざまな目標へと繋がっていきます。

今後も、子どもたちに興味や関心をもってもらえる活動を日常保育の中にたくさん取り入れ、「SDGs」の目標を少しでも多く達成できるように、身近な課題に取り組んでいきます。

ゆめ組 0歳児



愛着形成を大切に！

入園したばかりの頃は、家庭と離れて、保育園という外の世界に飛び出すことに不安な気持ちも大きかったと思います。半年が経過し、保育園にも慣れ、少しずつ一人ひとりの園生活のリズムが安定してきました。保育者と顔を合わせると「おはよう」の笑顔で一日がスタートします。

園では、「愛着形成」を大切に日々の保育を心掛けていきます。

乳幼児期に、特定の大人（両親や保育者など身近な大人）との間にできる情緒的な絆の形成は、一生涯にわたる「心の土台」を作ることとなります。

子ども達は、安心できる大人に見守られながら、自分の世界を広げていきます。外の世界に出て、不安な気持ちになっても、信頼できる大人のもとへと戻ります。そこで安心感を得ると、再び外の世界に飛び込んでいくことができます。この経験を積み重ねることで、「やってみよう」と挑戦する力、「あきらめない気持ち、探究心」を育んでいくことができます。

クラス目標

- 安心できる環境の中で、自分の欲求や気持ちを思い切り出し、保育者との信頼関係の中で毎日を心地よく過ごす。
- たくさんのことを見聞きして触れ、五感を刺激しながら楽しむ。



おはよう！



探索・挑戦

不安・恐怖・悲しみ

← 安心

← 再挑戦



園では、保育者が子どもたちにとつての「安全基地」となり、触れ合う心地よさと共に心のスキンシップも大切にしていきます。

「安心」した気持ちで、興味関心の幅を広げ、どんどん探索活動を楽しんでもらうことが子どものより良い成長に繋がっていきますので、保育園で過ごす時間が「安心」して「心地よく」過ごせる場になってもらえたら嬉しいと思っています。



五感を刺激した経験を！

0歳児の生活と遊びは、「はじめて見る、はじめて触れる」の連続です。

五感を刺激しながら、たくさん「はじめて」を、安心して楽しめる経験を大切にしています。

子育てには、悩む場面もたくさんありますが、正解はないと思っています。少しでも不安に思う事、悩んだ時には遠慮なく声を掛けてください。

ゆめ組 1番人気!
「だるまさんが」



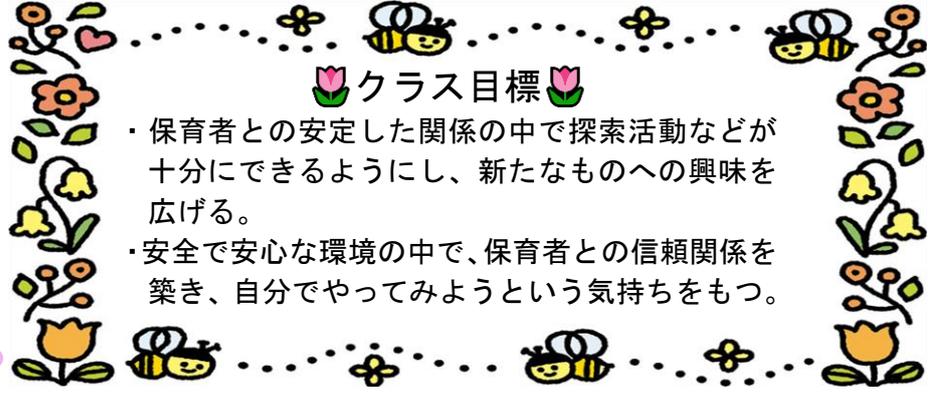
- ・子ども達が大好きな歌あそびなどを紹介します。
- ・「くらめっこしましゅ あっぷっぷ」
- ・「かわいいかくれんぼ」
- ・「サンサンたいそう」
- ・「バスにのって」
- ・「いっぽんばし」



い。それぞれのペースで、ゆっくり一歩ずつ、伸び伸びと成長していくお子さんの姿を、保護者の皆様と一緒に見守っていききたいと思っています。



おはながさいてるよ!



🌸 クラス目標 🌸

- ・ 保育者との安定した関係の中で探索活動などが十分にできるようにし、新たなものへの興味を広げる。
- ・ 安全で安心な環境の中で、保育者との信頼関係を築き、自分でやってみようという気持ちをもつ。



履けるかな?

見て! できるよ!!

はな組になって半年が経ち、自分でできることも増えてきました。子どもたちも自我の芽生えと共に、1人でできた喜びを感じ、少しずつ意思表示ができるようになって



1歳児は、自我が芽生え「自分でやりたい」という意欲が始める時期です。また、周りの人、友だち、自然、動物などへの興味と関心も高まっていく時期でもあります。このような成長の過程を踏まえて、今年度は上に示すような2つのクラス目標を掲げて保育をスタートしました。



今後子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切に、できたことへの喜びを感じられるような声掛けや挑戦した気持ちを認めてあげながら、身の回りのことへの興味関心を高められる環境をつくっていききたいと思えます。

きるようになりました。

できています。まだ難しくかったとしても挑戦したことを褒めたり、さりげなく手助けをしたりすることで気持ちが満たされ、次のチャレンジに繋がっています。例えば、外遊びの際の準備も初めは保育者にやってもらうのを待っていました。やり方がわかると「自分でやってみよう」と保育者や友だちの真似をしながら、一生懸命、挑戦する姿が見られるようになりました。何度も繰り返しやってみることで、ズボンや靴下を自分で履いてみたり、靴下を脱いだりと、少しずつ自分でできるようになりました。

はな組 1歳児



なにをしているのかな?



はな組では、探索活動の一環として、オタマジャクシ、ザリガニ、クワガタの飼育を行っています。オタマジャクシが成長していく過程やザリガニの脱皮のほか、保育者がクワガタの世話をする様子を見たり、一緒に餌をあげたりすることで、さらに生き物が身近に感じられるようになり、飼育することや観察することにも興味を示すようになっていきます。



見たい! 知りたい! 触りたい!!

探索活動は、子どもの発達度合によって少しずつ行動が変化しますが、子どもが周囲の状況を理解したり、物事の善し悪しを判断できるようになったりするための大切な行動と考えています。

「見たい、知りたい、触りたい」の気持ちが強い1歳児は、ただ目に入ってきたものに関心を向けるだけでなく、子ども自身が興味を持てる対象を探し出す段階です。大人の目には「いたずら」に見えることも、子どもにとっては「好奇心を満たす」ための重要な行動と受け止め、安全を十分に確保しながら、探索活動ができる環境を提供していきます。



にじ組

2歳児

進級して半年が経ち、子どもたちにもにじ組での生活に慣れてきたように感じます。言葉数もどんどん増え、身の回りのことも進んで行う姿には大きな成長を感じています。

朝顔の種まきと種取りに挑戦!

子どもたちは「自分でやってみたい!」と朝顔の種まきに挑戦しました。小さな手で種をつまみ、土の中に優しく置く姿には、皆が自分の力で何かを成し遂げようとする意欲が見られました。

やがて朝顔が芽を出し、つるが伸びていくと、毎日の観察が子どもたちの日課となりました。「大きくなーれ!」と話しながら水をあげ、姿や、友だちと「これ、ほくの!」「お花が咲いてきたね」と言葉を交わす姿が見られました。こうして日常の中の言葉のやり取りを通して、自然と語彙力が育まれていることに気づき、子どもたちの表現力も豊かになっていくと感じました。

夏になると、色鮮やかな花が咲き、子どもたちはその変化に大喜びで、「きれいだね」「紫のお花だ!」と自分の感じたことを積極的に言葉で表現し、お互いに花の成長を報告し合うようになりました。共に喜ぶ姿から、他の子の意見に耳を傾け、自分の思いを伝える楽しさを感じ取



右..種まき 左..種取り

っているようで、友だちとの関わりがさらに深まっていることが伺えました。

そして季節が変わり、花が咲き終わってからもみんなで種取りを行いました。「来年もまた咲かせようね!」と種を大事そうに手に取る子どもたちの姿には、育てた植物への愛着とともに、次の挑戦への期待が感じられました。

今回、朝顔の栽培と観察を通して、子どもたちは自分でやることの楽しさや、友だちと一緒に喜びを共有する経験を積み、心の成長を見せてくれました。

お祭りごっこをしましたよ!

先日、クラスで行った『お祭りごっこ』では、子どもたちが法被を着てお面をつけ、お祭りの雰囲気存分に楽しみました。山車を引く時には、子どもたちが力を合わせて頑張る姿がとても印象的でした。大きな声で掛け声をかけながら、友だち同士で息を合わせ、元気いっぱい山車を引いていました。

なって楽しむ様子が見られました。また、法被やお面を身につけたことで、普段以上に気分が高まり、山車を引くだけでなく、その場で元気に踊り出す子もいました。お祭りのリズムに合わせて自由に踊る姿は、子どもたちが心から楽しんでいることを感じさせ、見ている保育者も嬉しい気持ちになりました。

このように、お祭りごっこを通して自分でできることへの興味を持ち、友だちや保育者とのつながりや言葉のやり取りを楽しむ貴重な経験を積んでいました。

これからも、このような活動をとおして、子どもたちが自分を表現し、友だちと協力する楽しさを味わえる機会を大切にしていきたいと思っています。



お面を被ってはっぴを着ておかめポーズ♡



手作り獅子舞で遊んだよ!

クラス目標

- ◎身の回りのことに興味を持って、自分でしようとする。
- ◎生活や遊びの中で言葉のやり取りを楽しむ。
- ◎遊びや活動を通して、興味や関心および友だちとの関わりを広げていく。

★ ★
ほし組
3歳児
 ★

3歳児になると段々と視野が広がり、「一緒に遊んでみたい」と友だちとの関わり合いが増えていく時期になります。

その中で、時には気持ちがぶつかりあってしまうこともありますが、関わることの楽しさを感じるこのほか、お互いの気持ちや思いを知っていく大事な時期にもなっています。

友だちとの関わり合い

ごっこ遊びやルールのある遊びなどを行ったり、イメージを共有して遊べる環境を作ったりしながら、子どもたちが楽しみ、友だちとの関わり合いを広げられるように心掛けています。

最近では、「いーれーて」「いいよ」と遊ぶ姿や、「おもちゃを貸して」と言われたことに対し、「うーん、今使っているから、終わったら貸してあげるね」など、子どもたち自身で考え、やり取りをする姿が見られます。

お茶を誤って床にこぼしてしまい、困っている友だちには、「大丈夫、手伝ってあげ

るね」と床を拭く手伝いをするなど、友だちを気にかける姿も見られるようになってきています。

子どもたちは、日々、いろいろな経験をする中で、上手にいかないことや思い通りにならないことなど、自分の思いだけではないことに気づき、考え、行動してみようとしています。

これからも、保育者として、子どもたちが友だちとの関わりや、いろいろな事に興味をもち、毎日が楽しく過ごせるような保育を行っていきたいと思います。

クラス目標

- ・保育者との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表現する。
- ・自信をもって楽しく満足感や達成感を感じながら生活する。
- ・明るくのびのびと園生活を過ごし、友だちと一緒に遊んだり活動したりすることを喜ぶ。



ほしぐみすいぞくかん



絵本コーナーの図鑑に興味を持っていた子どもたちと一緒に水族館を作りました。折り紙で魚やカニを折ったり、大きな紙にみんなで色を塗ってクジラを描いたり、花紙をめくってクラゲ作りに挑戦し、創り上げた魚たちにみんなで名前も付けました。5月から少しずつ制作を始め、チケットや水族館の飾りつけを準備し、ほかのクラスの友だちを招待し、大盛況の「ほしぐみすいぞくかん」でした。

それっ！



大きなクジラの完成♪



ピクニック



「春の遠足が楽しかった」と話していた子どもたちが、保育室でも折り紙のおにぎりや飲み物を作ってピクニック気分を味わいました。友だちと並び「どうぞ!」とおにぎりを食べさせ合う姿も見られました。また、レジャーシート代わりにしていた新聞紙を最後にはお弁当箱に変身させ、食べ物や飲み物を入れて大事にカバンにしまっていました。



お弁当箱に変身!



ひとくちどうぞ!



つき組 4歳児



4歳児になると、生活習慣が身に付き、自分でできることが増えてくると同時に、自信が持てるようになり、周りの人と関わることを通して社会性のある行動が見られるようになってきました。

今年度のクラス目標にある「運動遊びを通して、協調性、社会性を身に付ける」という目標を達成するため、保育ではリトミックやボール遊びなどを積極的に取り入れています。

リトミックでは、音感やリズム感がつき、体をたくさん動かすことで運動能力も高まります。つき組の一番人気は、トンボ、汽車、めだかなどの走るリトミックです。走るだけではなく片足立ちや基本的な動きを通して柔軟性やバランス感覚も少しずつ身につけてきました。

優しさや思いやりの心を持ち、友だちと協力して物事をやり遂げようとする」という目標もありますが、困っている友だちや泣いている友だちを助けたり慰めたりする姿も見られるようになりました。またグループ活動では、協力して一つの作品を作ったり、話し合いをして物事を決めたりするなど、友だちと協力して物事をやり遂げようとする姿も身に付けています。

今後もしろいろな活動を通して、社会性や協調性を養い、一人ひとりが自信をもって最後までやり遂げられるような保育を行ってまいります。



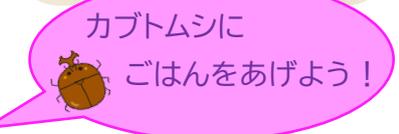
《クラス目標》

- 《 集団行動を通して、人の気持ちや決まりの大切さを知る。》
- 《 優しさや思いやりの心を持ち、友だちと協力して物事をやり遂げようとする。》
- 《 できないことに対しても保育者が援助をし、できたことの達成感や満足感を味わえるようにする。》
- 《 運動遊びを通して、協調性、社会性を身に付ける。》



「おはよう、今日は元気かな？」

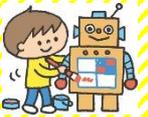
つき組では「おたまじゃくし」「メダカ」「カブトムシ」など季節に合わせて様々な生き物を飼育し子どもたちも毎日餌やりや水替えなど当番制で行っています。生き物に親しみをもち、命の大切さに気付くことや、生き物をみんなと協力して世話をすることで友だちの中を深めることができます。最近は毎朝カブトムシが動いているか気になるようで「おはよう、今日は元気かな？」と話しかけたり「餌いっぱい食べているから交換しよう」と当番に教えてあげたりする姿がみられ、積極的にお世話をしてくれるようになりました。



クラス目標

- ❖ さまざまな経験を通して、友だちと協力することの楽しさ、一つの事を達成する喜びを味わう。
- ❖ 相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを伝えることができるようになる。
- ❖ 自分で考えて取り組む力を身につけ、さまざまなことに挑戦していく。
- ❖ 生活の中で、時間の見通しを立てて行動できるようになる。

そろ組 5歳児



5歳児クラスでは市立図書館訪問、野菜じゅり、ピザづくりなどさまざまな活動を通していろんなことに興味を持ち、身の周りのことを自分たちで考えながら意欲的に取り組もうとする姿が見られます。



ペットボトルの入れ方を教えてもらい、地域の方との交流もできました★

のを見て、「その牛乳パックはどうするの?」と疑問に思ったようで、それをきっかけにみんなでリサイクルボックスへ行くことになりました。牛乳パックの他に保育園にあったペットボトルを持って近所のスーパーへ歩いて行き、早速リサイクルボックスを見つけると駆け寄っていきました。「家の人と買物に行くときに見たことはあるけれど、実際に利用したことはなかった」という子が多く、とても興味深そうでした。ペットボトルのボックスでは、リサイクルをするポイントが貯まるということも知り、「そのポイントでジュースとお菓子も買えるじゃん!」と目を輝かせていました。

ました。リサイクルすることで今までは捨てていたものが新しいものに生まれ変わることができるといことも学ぶことができました。自由制作が大好きな子どもたちは、トイレットペーパーの芯やティッシュボックス、牛乳パックなどの廃材を見つけると、嬉しそうに手に取る姿が見られます。くじ引きや望遠鏡を作ったり、ハサミで切って形を変え、別のものと貼り合わせたりと完成したものを遊びの中で使



「どうやって作ったの?」「見せて!」などと、子どもたち同士の会話やコミュニケーションにも繋がっていると感じます。また、自分たちで想像したものを自由に表現することで満足感や達成感を味わうことができます。

捨ててしまはずのゴミも子どもたちにとっては宝物です!



子どもたちの作品介绍

手のひらサイズのミニチュアグッズをつくることに夢中です!

卵パックに色を塗り、パックのギザギザ模様を生かして花火を表現したよ!

牛乳パックで取っ手付きのコップをつくってカフェごっこ!



フォト・コーナー

ゆめ組 0歳児



はな組 1歳児



にじ組 2歳児



ほし組 3歳児



つき組 4歳児



そら組 5歳児



いばらき保育の魅力コンテスト

2部門で入選!

桜川保育園として開園してから5年目を迎え、より多くの人に保育園の魅力を伝えていきたいという思いから、茨城県主催の『第3回いばらき保育の魅力コンテスト』に応募しました。

コンテストは、「子どもの成長部門」と「保護者の安心・安全部門」の2部門あり、それぞれの部門で「子どもたちと共に保育園でできるSDGs」「ICTで、より良い

信頼関係と安心安全の提供」というテーマでプレゼンテーションを行いました。その内容を紹介します。

●子どもの成長部門
「食育」に力を入れながら、積極的に食品ロスをなくすことや、節電、廃材利用、ペーパーレス化など、環境を守る取り組みのほかにも、さつまいも、トマト、ナス、ピーマン、バジルなど野菜の栽培や収穫を通して、子どもた

ちとともに実施している「SDGs」について紹介をしました。また、今年度は、米作りにも挑戦したので、みんなで水の管理をしたり成長を観察したりしながら、生命の大切さについて学んでいることを伝えました。

●保護者の安心・安全部門
開園当初から「ICT」を取り入れ、事務の効率化、保護者との連絡、緊急時の対応などに有効活用していることや、子どもたちの記録をはじめ、家庭や園での子どもの様子も「ICT」で互いに伝え合うことができることなどを紹介しました。

2部門とも入賞することができ、当園での取り組みの内容が茨城県の特設サイトに

に掲載されるほか、動画でも紹介されることになりました。なので、ぜひご覧ください。



茨城県保育施設ポータルサイト
<https://ibarakihoku.jp/#about-contest>

花いっぱい運動コンクール 4連覇!

第53回「花いっぱい運動コンクール」において、今年度も最優秀賞となる『土浦市まちづくり市民会議議長賞』を受賞し、4連覇を達成しました。

花壇には、市から配布されたサルビアとマリーゴールドのほか、園で育てたコキアが植えてあります。また、敷地の南西側にはアジサイとラベンダーが植えてあることにより、梅雨の時期から初夏にかけての季節感も味わうことができるようになっています。

午前中の園庭遊びでは、子どもたちも植物や花の成長を気にかけ、種から花に成長する過程を観察したりすることで、小さな生き物へのいたわりの気持ちが育まれ、「いのち」の大切さを実感できるきっかけとなっています。



グリーンカーテンコンテスト 2連覇!

昨年度に続き、ゆめ組(0歳児)の保育室の窓に縦3m、横6mのグリーンカーテン設置し、2年連続「最優秀賞」を受賞しました。

今年度は、事務室とにじ組(2歳児)の南側にそれぞれゴーヤと西洋朝顔、琉球朝顔も増やし、事務室前の「ゴーヤのグリーンカーテン」は、玄関の上部から設置している「ミストシャワー」の効果と合わせて、熱中症の予防にもつながりました。成熟したゴーヤの実は、以上児の子どもたちが収穫し、園の調理室で天ぷらにし、「美味しい!」「苦い!」とそれぞれ『食レポ』しながら試食することもできました。

このように「ゴーヤのカーテン」は、日影を作ることと食育にも繋がる一石二鳥の取り組みとして効果がありましたので、来年も続けて挑戦していきたいです。



ゴーヤとれたよ!

